

『戒めは潤いのはじまり』

戒律や規範と言うと、なんだか堅苦しいような、窮屈なようなイメージが有りますが、お大師さまは、戒めを守ることで潤いの有る人生を送れると言われました。

何故でしょう。自由奔放な生き様や、破天荒な人生を過ごした人に対して、憧れを以て見ている人が多いようですが、その本人にとって、あらゆる事に立ち向かって、傷つきながら、芯を通した現実を目を向けなければ成りません。

規範を囲いと捉えず、世間の波風から守ってくれる仏さまの御手だと考え、規律正しい毎日を送ることで、余計なストレスから解放されていきます。

自由は、良いことですが、総てをいちいちに一人で決めていくことは、細かい事が好きな人ならともかく、疲れるものです。

さらに、自由な環境を守るためにも、全員がルールを守らなければ成り立ちません。相反する様ですが、これが現実です。

命を尊び、教えを守り、和を以て事に当たれば、仏さまが答え、智恵が広がり、良い環境が整っていきます。人を生かし、盗まず、羨まず、穏やかな人生を送る努力を致しましょう。

平成二十四年皐月

修詮記